

修成建設専門学校（H29 受審）

I 評価結果

修成建設専門学校は、専修学校設置基準、国交省の指定校認定基準および職業実践専門課程認定要件をはじめ関係法令に適合し、専門職高等教育質保証機構が定める評価基準を満たしています。

主な優れた点として、次のことが挙げられます。

- クラスサイズも学修効果があがるように工夫されています。学生の資格取得をバックアップするために、きめ細やかな各種資格取得対策講習会を実施しています。
- 定期的に卒業生との友好を深めており、良く連携が取れています。起業している卒業生も多く、卒業後の就職にもつながっています。

主な改善を要する点は、特にありません。

更なる向上が期待される点として、次のことが挙げられます。

- 全国専修学校各種学校総連合会「職業実践専門課程の質向上等に向けた指針」により「情報公開のリンクはバナーにして、Web ページのトップに配置されなければならない」とされているので、この指針に即した様式とすることが望まれます。
- Web ページの情報公開に情報量が多すぎて見づらいものになっており、サイト内検索ボックスを設置するなどの改善が望まれます。
- 社会の要請に沿った人材を育成するため、企業・業界団体等からの意見を活かし、カリキュラムに反映させています。さらに、平成 30 年度から新たなアドミッション・ポリシーが適用され、教育の質改善や向上のための取り組みが今後、実を結ぶことが期待されます。

高崎動物専門学校（H29 受審）

I 評価結果

高崎動物専門学校は、専修学校設置基準、職業実践専門課程認定要件をはじめ関係法令に適合し、専門職高等教育質保証機構が定める評価基準を満たしています。

主な優れた点として、次のことが挙げられます。

- オープンキャンパスで、在校生が面接やプレゼンテーションを行う取り組みが、在学生の教育上の成果をあげています。
- 学生全員に配布したタブレット端末を活用した授業や、きめ細かな生徒指導が実施されています。
- ペット業界企業との連携による求められる人材の育成、専門分野における知識やスキルを取得する教育手法、学生に対するきめ細かなフォロー体制等が、高い就職率や資格取得、低い退学率、さらに就職後の活躍に繋がっています。
- 多数の卒業生がペット業関連企業で活躍するとともに、国際的なコンテストで複数の卒業生が優秀な成績をあげるなど、優れた学修成果をあげています。

主な改善を要する点として、次のことが挙げられます。

- 学生の要望・ニーズを的確に把握するために、組織的かつ定期的なアンケート調査等を実施する必要があります。特に、授業科目ごとのアンケート等によって、学生の意見を聴取し、その結果に基づいて、教材、カリキュラム、指導内容等の改善に資することが必要です。

上記のほか、更なる向上が期待される点として、次のことが挙げられます。

- 企業や卒業生の意見を組織的に聴取する仕組みを構築することが望まれます。

アリアーレビューティー専門学校（H29 受審）

I 評価結果

アリアーレビューティー専門学校は、専修学校設置基準、職業実践専門課程認定要件をはじめ関係法令等に適合し、専門職高等教育質保証機構が定める評価基準を満たしています。

主な優れた点として、次のことが挙げられます。

- 留学生就職アシスト事業として、日本で培った理美容技術を活かし、母国に戻って活躍できるよう、母国日系企業を紹介するとともに、帰国準備金として帰国の際に 20 万円支給する体制を整えています。

主な改善を要する点として、次のことが挙げられます。

- 各種説明会等の参加・開催、地域活動、各種情報提供など多様な入学者確保の努力にも関わらず、実入学者数が入学定員を下回っており、教職員一丸となって改善に取り組むことが必要です。
- 生徒による授業評価、インターンシップ先や就職先からの生徒評価など、いくつか実施されていますが、それらの成果を分析し、教職員間で共有を図り、改善・向上に結びつける体制の構築が必要です。
- 教員の組織体制、理容・美容Wライセンスの取得規定、個人情報保護法にからむ文書管理規則等、学内ルールの整備や明文化が必要です。
- 就職先の卒業生の情報を組織的に収集・分析し、それらの情報を教職員間で共有を図り、教育に生かす体制が必要です。

上記のほか、更なる向上が期待される点として、次のことが挙げられます。

- 学生像や理容師・美容師という仕事が魅力的に伝えられるように、印刷物、Web ページなどの工夫・改善が望まれます。
- 地域活動の効果等を分析し、積極的にアピールするなど、入学者増加につながる取組を検討することが望まれます。
- 名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院（本校と同様に理容・美容系の学科を設置しており、エステ・ブライダル・ネイルの衛生分野での強みを持つ）と包括業務提携の締結（平成 29 年 2 月）によって、授業交換（平成 30 年 4 月から）などが実施され、学びの強化が期待されます。
- 施設は充実していますが、図書館や実習室が、学生にとって平等で有効に活用されるよう工夫やメンテナンスが望まれます。
- 理容科・美容科ともに、教員研修に組織的に参加し、参加者の情報を共有することが望まれます。

専門学校岡山情報ビジネス学院（H30 受審）

I 評価結果

専門学校岡山情報ビジネス学院は、専修学校設置基準、指定保育士養成施設の指定及び運営の基準および職業実践専門課程認定要件をはじめ関係法令に適合し、専門職高等教育質保証機構が定める評価基準を満たしています。

主な優れた点として、次のことが挙げられます。

- 全国の専門学校の多くが、入学定員充足に問題を抱えている現状の中で、平成 28～30 年度いずれも入学者が入学定員を上回って（学校全体）います。
- カウンセリング室が設置され、教員が配置されています。スクールカウンセリングは学生だけではなく、保護者も受けることができる体制が整備されています。
- 企業等との連携が構築されており、実習が学習に活かされるとともに、卒業生の追跡調査も積極的に実施されています。

主な改善を要する点は、特にありません。

更なる向上が期待される点として、次のことが挙げられます。

- 学生アンケート結果の組織的な分析と、その結果や学校関係者評価や外部評価の教育へのフィードバックを、さらに可視化することが期待されます。
- 「学修成果があがった」という判断に直接つながるような学生アンケートの質問項目設定やヒアリングなどを実施し、それらの結果を分析することが期待されます。

高津理容美容専門学校（H30 受審）

I 評価結果

高津理容美容専門学校は、専修学校設置基準および関係法令等に適合し、専門職高等教育質保証機構が定める評価基準を満たしています。

主な優れた点として、次のことが挙げられます。

- 美容科と理容科には「就職進学コース」（委託学生制度）が設置され、働きながら学ぶことができます。このコースは大阪発の「産学連携コース」に認定されています。
- サロンだけでなく、メーカーや団体との協力による実習、演習の成果は、コンテスト入賞など業界の高い評価につながっており、優れています。
- 卒業生がサロンで多く活躍し、学校への信頼も厚く、学校に様々な面で協力しています。
- 国内外で活躍する優秀な人材を数多く輩出していることが国際的に評価され、平成 27 年パリで開催されたインターコワフューールモンディアル (INTERCOIFFUREMONDIAL・世界美容家協会)主催の世界大会において、『Best World Academy』を受賞しました。

主な改善を要する点として、次のことが挙げられます。

- 数々の取組・努力にもかかわらず、入学定員の充足率が低く、定員を現実的な数字に変更することを含めた学校の将来展望が望まれます。特に、国際エステ・セラピスト専門学科および国際エステティック学科については、抜本的な対策が望まれます。
- 自己点検・評価や学校関係者評価等が実施されていることは確認できますが、それらを組織的、系統的に分析し、改善に資する体制・意識の構築が望まれます。
- 学校関係者評価委員会には、保護者・地域住民・高等学校関係者を委員として加えることが望まれます。
- 授業評価等、学生の意見を聴取・分析して、組織的に学修効果をあげる仕組みの構築が望まれます。

更なる向上が期待される点として、次のことが挙げられます。

- 将来（たとえば 10 年後）の創造的展望について、学内での議論を深めることを期待します。

大阪ハイテクノロジー専門学校（H30 受審）

I 評価結果

大阪ハイテクノロジー専門学校は、専修学校設置基準および関係法令等に適合し、専門職高等教育質保証機構が定める評価基準を満たしています。

主な優れた点として、次のことが挙げられます。

- クラス日誌やスコラ手帳を用い、学生一人ひとりに対して学習指導体制が整備されています。学生のメンタル面の不安等に対しても、滋慶トータルサポートセンター（学校法人全体の組織）を含めて、法人全体で支援する体制が整備されています。
- 図書室は所蔵図書が充実しており、学生の自習等や教員の研究活動に有効活用されています。
- 留学生を含めた特別な支援が必要な学生の学習・生活支援を行う体制が整備されています。
- 自己点検評価、学校関係者評価の結果が、教育の質向上に向けて有効に活用されています。滋慶教育科学研究所による専門的な視点からの教員研修、職員研修に積極的に参加し、教職員の質向上が図られています。
- 卒業生の臨床工学技士の大阪府下占有率は、近年 50%以上を保っています。

主な改善を要する点として、次のことが挙げられます。

- 定員充足のための取組や努力が行われているものの、募集定員を下回っている学科が多く、時代や学生のニーズに即応した学科編成や授業内容の改善等が望まれます。

更なる向上が期待される点として、次のことが挙げられます。

- 学校の使命、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを見直す仕組みの構築が期待されます。
- 卒業生の早期離職の原因を把握し、職場の中で生きぬく力を養うなど、教育の質向上に生かすことが期待されます。